

# 平成27年度 みやざき地域志向教育研究経費 概要

所属部局等	代表者
医学部	竹山 ゆみ子
対象となる領域	地域志向教育研究経費区分
地域志向社会貢献領域	地域課題解決型
プロジェクト名又は研究名	
健康寿命延長のための食生活支援	

## 概要説明

### <プロジェクト又は研究の必要性及び目的>

平成25年度より2年間、県内の高齢化率の高い地域において、公益社団法人宮崎県栄養士会および宮崎県歯科衛生士会との協働による、高齢者やその家族を対象としたCOC事業を展開してきた。事業の展開により、栄養素を意識した食事摂取の重要性の理解や、具体的な献立の工夫、口腔ケアの必要性や手技の習得など、食と健康に関わる内容に関する啓発を行うことができた。日本の高齢化率が高まるとともに、宮崎県の高齢化率も平成25年度に27.6%となった。宮崎市や都城市といった、県内では比較的、高齢化率の低い地域ですら、小地域でみると、高齢化率が40%以上となっている地域が多数みられるのが、現在の宮崎県である。今後、県内の高齢化率は上昇し続けることが推測されており、高齢者に「いつまでも元気に過ごしてほしい」もしくは高齢者自身が「元気に過ごしたい」といった願いを抱き、健康寿命(日常生活に制限のない期間)延長に向けて取り組むことは必須の課題である。

2年間の事業の展開において、住み慣れた地域内で開催したことで、食と健康に関心はあっても参加したことがない方や、交通手段がなく参加することが困難な方々にも参加していただき、参加者の満足感を得ることができ、次年度の開催の要望をいただいた。また、本事業の内容を伝え聞いた方から、他地域での開催要望もいただいている。地域コミュニティからの直接の要望であるため、本事業展開は有益な結果をもたらすと考える。

そこで本事業では、平成25年度からの継続課題として、健康寿命を延長するための食生活改善および口腔機能維持について理解し、地域住民が主体的に栄養状態の改善に向けた取り組みを実施するための動機づけとすることを目的とする。今回は、開催要望のあった都城市山田町の住民(主として高齢者と家族介護者)を対象に、健康寿命延長に向けた食生活支援についての講演会を公益社団法人宮崎県栄養士会および宮崎県歯科衛生士会と協働で実施する。

さらに、平成25～26年度の事業において、学生がボランティアとして参加したことで、地域住民には本学学生の学習状況を知る機会となり、学生にとっては地域の課題について考える好機となり、今後の学習意欲を高めるきっかけとなった。そのため、本事業においても老年看護学実習受講前の3年生および、受講後の4年生を主として、学生ボランティアの参加を募り、宮崎県における「食と健康」に関する課題について有機的に考えることができる人材育成の一端を担うことも副目的とする。